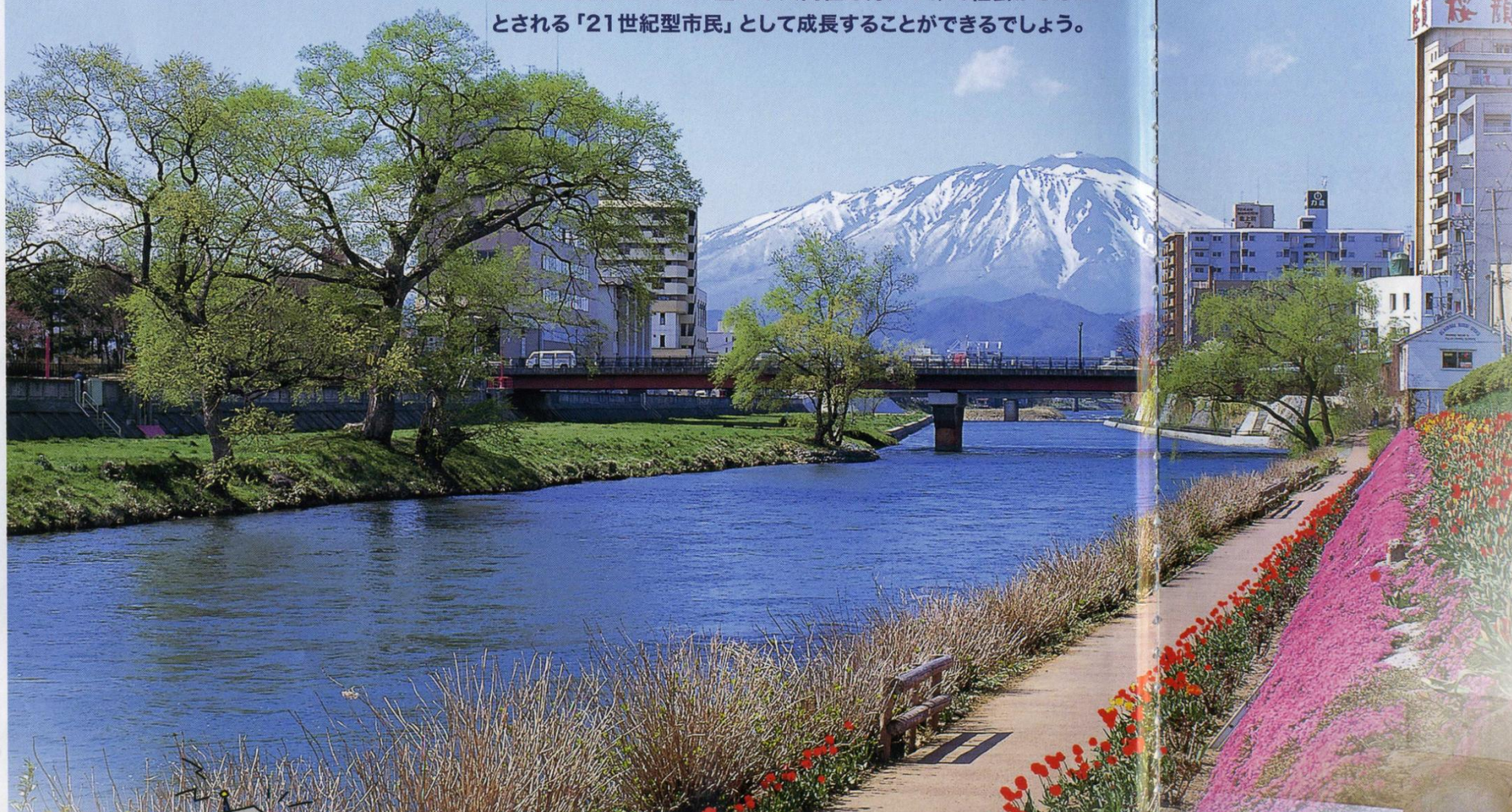


岩手大学で学ぶための

イントロダクション

岩手大学のある岩手県盛岡市は、宮澤賢治が『イーハトーヴォ=理想郷』と呼んだように、暮らしやすく学びやすい街です。そのような環境の中で、岩手大学

は100余年の歴史ある学術機関として、岩手県下はもちろん、県外や世界で活躍する人材を送り出してきました。学問研究や、生涯の友と出会うことで、豊かな人間性を身につけて社会から必要とされる「21世紀型市民」として成長することができるでしょう。





もりおか 三大麺

無類の麺好きとして知られる盛岡市民にとって、特に思い入れの強い麺がこちらの三大麺。「おもてなし」の心が生んだわんこそばはもちろん、戦後大陸から岩手に戻った人や移った人が始めたじゃじゃ麺や盛岡冷麺は、まさに市民のソウルフード。



上の橋 下の橋

鮭の遡上も見られる清流・中津川には、木製の欄干と銅製の擬宝珠が再現（擬宝珠は江戸時代のものを補修して設置）された上の橋、下の橋が架かっています。下の橋のもとには、チャグチャグ馬コを見に訪れた宮澤賢治が詠んだ「ちゃんちゃんが馬コ」が詩碑となって訪れる人を迎えています。



みこと。死の1カ月前に宮澤賢治が詠んだ文語詩「かなた」には、公園からの眺めが「川と銀行木のみどり まちはしづかにたそがる」と描かれ、盛岡城跡公園には詩碑も建立されています。

おいしい水、空気のおかげ!! 豆腐消費量日本一!!

一世帯あたりの年間豆腐消費量が105.39丁で、全国1位の盛岡市（※平成17年度 総務省統計局調べ）。水がおいしく綺麗であること、寒冷な気候のため大豆の栽培が盛んだったこと、豆腐が古くから貴重なたんぱく源だったことなどが、豆腐消費量に関係していると言われています。



チャグチャグ馬コ

江戸時代の参勤交代に端を発し、愛馬の労をねぎらい、五穀豊穡と馬の健康を願う伝統行事。学生時代の宮澤賢治もよく見に出かっていたそうです。

百音
選風
景の



盛岡 さんさ踊り

さんさ太鼓
パレード
ギネス認定

のべ1万の太鼓、3万人以上の踊り手が躍動する盛岡の夏の風物詩。2007年は「ギネス記録・和太鼓同時演奏世界一」の記録更新に成功し、文字通り「世界一の太鼓パレード」へ飛躍しました。岩手大学では毎年このまつりへ参加し、高い評価を得ています。

映画の街 もりおか

スクリーン数の対人口比が全国でもトップクラスの盛岡市。通称「映画館通り」を中心に、市中心部に13スクリーンが密集しているため、娯楽大作からミニシアター系の名画までよりどりどりで。

●冷麺

●じゃじゃ麺

自転車で
回れる
距離感が
Good!!

もりおか 三大麺

無類の麺好きとして知られる盛岡市民にとって、特に思い入れの強い麺がこちらの三大麺。「おもてなし」の心が生んだわんこそばはもちろん、戦後大陸から岩手に戻った人や移った人が始めたじゃじゃ麺や盛岡冷麺は、まさに市民のソウ



同窓会報にみる 盛岡の歳時記



北杜

第 44 号

平成 8 年 3 月 1 日



北上川を飛び立つ白鳥

北 社

第 50 号

平成14年 3月



附属図書館・放送大学棟



岩手大学学生歌

作詞 平田 馨
作曲 千葉 了道

一 花ふゝみたる

桐の葉を

しるしといだく

むねのうへ

いくやまかはの

いそしみを

紫ふかく

こめにけり

岩手の国を

はるかにも

あたらし風の

今日立ちぬ

二、三（省略）

四

究めむみちの

遠けれど

かがよひいづる

明星に

ゆくては直に

指されたり

友よ希望の

眉あげて

上田の森に

なりわたる

きけ大学の

鐘の音を

この音響設備から流れる学生歌は、山本裕之氏の編曲によるもの

平成十八年六月一日 開学記